その他投資	−46,650	−70,612	−535
外貨準備	−2,663	1,053	−568
金融収支	53,558	31,667	47,310
誤差脱漏	23,988	7,465	20,557

（備考）①　四捨五入のため、合計に合わないことがある。
②　金融収支の符号は、＋は純資産（資産－負債）の増加、－は同減少を示す。

平成27年度中国際収支状況（速報）

財務省
（単位：億円、％）

項目	平成27年度	前年度	対前年度比増減
貿易・サービス収支	−5,810	−93,142	87,332
（対前年度比）	（−93.8）	（−35.7）	
貿易収支	6,299	−65,890	72,188
（対前年度比）	（—）	（−40.3）	
輸出	731,355	756,369	−25,014
（対前年度比）	（−3.3）	（8.5）	
輸入	725,057	822,259	−97,202
（対前年度比）	（−11.8）	（1.8）	
サービス収支	−12,109	−27,252	15,144
（対前年度比）	（−55.6）	（−20.6）	
第一次所得収支	205,611	199,755	5,855
（対前年度比）	（2.9）	（9.0）	
第二次所得収支	−20,048	−19,368	−680
（対前年度比）	（3.5）	（33.8）	
経常収支	179,752	87,245	92,507
（対前年度比）	（106.0）	（264.6）	
資本移転等収支	−7,008	−2,707	−4,301
直接投資	163,095	132,224	30,870
証券投資	298,510	51,007	247,503
金融派生商品	−5,549	46,527	−52,076
その他投資	−216,792	−95,083	−121,709
外貨準備	6,075	2,920	3,155
金融収支	245,338	137,595	107,744
誤差脱漏	72,594	53,056	19,537

（備考）①　四捨五入のため、合計に合わないことがある。
②　金融収支の符号は、＋は純資産（資産－負債）の増加、－は同減少を示す。

公告

諸事項

第三者所有物の没収に関する公告

平成28年5月20日

大阪地方検察庁堺支部検察官

刑事事件における第三者所有物の没収手続に関する応急措置法第２条第２項の規定により、下記のとおり公告する。

下記の物の所有者は、平成28年６月３日までに被告事件の係属する裁判所に同被告事件の手続への参加を申し立てることができる。

記

1　係属裁判所　大阪地方裁判所堺支部第１刑事部合議Ｂ係
2　被告事件名　関税法違反、消費税法違反、地方税法違反
3　被告人氏名　中西　邦啓、實　　和也
4　公判期日　平成28年５月26日
5　没収すべき物の品名、数量、その他その物を特定するに足りる事項
・　金地金40枚（重量合計40,000.0グラム）（大阪地方検察庁堺支部平成28年領第276号符号３－１、３－２、３－３、３－４、３－５、３－６、３－７、３－８、３－９、３－10、３－11、３－12、３－13、３－14、３－15、３－16、３－17、３－18、４－１、４－２、４－３、４－４、４－５、４－６、４－７、４－８、４－９、４－10、６－１、６－２、６－３、６－４、６－５、６－６、６－７、６－８、６－９、６－10、６－11、６－12）
・　時計149個（大阪地方検察庁堺支部平成28年領第276号符号７－１、７－２、７－３、７－４、７－５、７－６、７－７、17－１、17－２、17－３、17－４、17－５、17－６、17－７、17－８、17－９、17－10、17－11、17－12、17－13、17－14、17－15、17－16、17－17、17－18、17－19、17－20、17－21、17－22、17－23、17－24、17－25、17－26、17－27、17－28、17－29、17－30、17－31、17－32、17－33、17－34、17－35、17－36、17－37、17－38、17－39、17－40、17－41、17－42、17－43、17－44、17－45、17－46、17－47、17－48、17－49、17－50、17－51、17－52、17－53、17－54、17－55、17－56、17－57、17－58、17－59、17－60、17－61、17－62、17－63、17－64、17－65、17－66、17－67、17－68、17－69、17－70、17－71、17－72、17－73、17－74、17－75、17－76、17－77、17－78、17－79、17－80、17－81、17－82、17－83、17－84、17－85、17－86、17－87、17－88、17－89、17－90、17－91、17－92、17－93、17－94、17－95、17－96、17－97、17－98、17－99、17－100、17－101、17－102、17－103、17－104、17－105、17－106、17－107、17－108、17－109、17－110、17－111、17－112、17－113、17－114、17－115、17－116、17－117、17－118、17－119、17－120、17－121、17－122、17－123、17－124、17－125、17－126、17－127、17－128、17－129、17－130、17－131、17－132、17－133、17－134、17－135、17－136、17－137、17－138、17－139、17－140、17－141、17－142）
6　没収の理由となるべき事実の要旨

被告人中西邦啓及び同實和也は、増田明夫、増田猛、赤木洋平、寺本大河、山田環、津谷秀憲こと金秀憲、ＪＯＮＥ　ＹＡＴ　ＳＨＡＮ　ＭＯＵＮＴＡＩＮ及び氏名不詳者らと共謀の上、金地金及び腕時計を不正に輸入し、これに対する消費税及び地方消費税を免れようと考え、平成27年２月14日、中華人民共和国香港特別行政区所在の香港国際空港において、寺本、山田、津谷こと金及び藤井愛が、黒色布袋内の段ボール箱に隠匿した金地金合計130キログラム（課税価格合計６億389万3,558円相当）及び腕時計合計586個（課税価格合計４億6,650万4,439円）を、キャセイパシフィック航空第502便に機内預託手荷物として搭載して同空港を出発させ、同日午後９時22分頃、大阪府所在の関西国際空港に到着させ、同日午後９時35分頃、同空港内大阪税関関西空港税関支署旅具検査場において、入国に伴う携帯品検査を実施する情を知らない同税関支署職員を介して、法令により通関に関する税関長の権限の委託を受けた同税関支署長に対し、前記金地金及び腕時計を輸入する事実を秘して輸入する貨物は全て化粧品である旨の虚偽の輸入及び納税申告を行い、税関長の許可を受けないで前記金地金及び腕時計を輸入しようとするとともに、不正の行為により前記金地金及び腕時計に対する消費税6,743万4,800円及び地方消費税1,819万6,600円を免れようとしたが、同税関支署職員に前記金地金及び腕時計を発見されたため、いずれもその目的を遂げなかったものである。

迫川上流土地改良区の定款変更の認可の公告

土地改良法（昭和24年法律第195号）第30条第２項、第124条及び第136条の３の規定に基づき、宮城県及び岩手県の区域の一部を地区とし、宮城県栗原市に事務所を有する迫川上流土地改良区から申請のあった定款変更については、平成28年５月12日認可したので、同法第30条第３項、第124条及び第136条の３の規定に基づき公告する。

平成28年５月20日

東北農政局長　松尾　　元